



## 2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月5日

上場会社名 株式会社 毎日コムネット

上場取引所 東

コード番号 8908 URL <https://www.maicom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小野田 博幸

TEL 03-3548-2111

四半期報告書提出予定日 2020年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	4,155	28.0	177	77.4	150	80.2	101	80.4
2020年5月期第1四半期	5,775	10.1	785	10.4	762	12.1	519	10.4

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 87百万円 (83.8%) 2020年5月期第1四半期 538百万円 (13.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	5.64	
2020年5月期第1四半期	28.84	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	25,210	9,293	36.3
2020年5月期	27,134	9,566	34.7

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 9,156百万円 2020年5月期 9,426百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		8.00		20.00	28.00
2021年5月期					
2021年5月期(予想)		8.00		20.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により現時点においては合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期1Q	18,000,000 株	2020年5月期	18,000,000 株
期末自己株式数	2021年5月期1Q	84 株	2020年5月期	84 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期1Q	17,999,916 株	2020年5月期1Q	17,999,916 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、不動産デベロップメント部門、不動産マネジメント部門及びエネルギーマネジメント部門の3部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動ソリューション部門と人材ソリューション部門の2部門からなる「学生生活ソリューション事業」の2事業(セグメント)計5部門で事業展開を図っております。

また、期初に2021年5月期を初年度とする「新中期経営計画」を策定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ今年度においては策定を見送ることとしており、2021年5月期の連結業績予想につきましても現時点では未定とさせていただきます。

当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の当社グループへの影響につきましては、不動産マネジメント部門においては軽微であり業績は順調に推移いたしました。旅行分野である課外活動ソリューション部門においては、合宿旅行等のほとんどが中止となり売上高が大きく減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,155,967千円(前年同四半期比28.0%減)、営業利益は177,761千円(同77.4%減)、経常利益は150,987千円(同80.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は101,528千円(同80.4%減)となりました。

## ① 売上高

当第1四半期連結累計期間の売上高は4,155,967千円(前年同四半期比28.0%減)となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は3,785,553千円(同17.3%減)、学生生活ソリューション事業の売上高は370,413千円(同69.1%減)となりました。また、部門別では、不動産デベロップメント部門は1,048,634千円(同46.1%減)、不動産マネジメント部門は2,643,155千円(同4.1%増)、エネルギーマネジメント部門は93,763千円(同2.8%増)、課外活動ソリューション部門は7,134千円(同99.1%減)、人材ソリューション部門は363,279千円(同10.6%減)となりました。

なお、不動産デベロップメント部門における売上高の減少は、売却した販売用不動産の物件規模が前年同期売却物件に比べ小さかったことによるものであります。また、課外活動ソリューション部門の売上高の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行関連商品の減少によるものであり、人材ソリューション部門の売上高の減少は、印刷媒体や学生が実際に参加するイベント・セミナー等の売上高が減少したことによるものであります。

## ② 営業利益

当第1四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は783,366千円(前年同四半期比23.0%減)、セグメント利益は518,101千円(同32.1%減)となりました。

なお、不動産ソリューション事業における売上総利益及びセグメント利益の減少は、主に販売用不動産の売却額の減少に伴い売却利益が減少したことによるものであります。

また、学生生活ソリューション事業の売上総利益は220,837千円(同65.0%減)、セグメント利益は△145,934千円(前年同四半期は220,568千円)となりました。

なお、学生生活ソリューション事業の売上総利益及びセグメント利益の減少は、主に課外活動ソリューション部門における新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少によるものであります。

その結果、各セグメントに配分していない全社費用194,405千円(同1.8%減)を調整し、全社の当第1四半期連結累計期間の営業利益は177,761千円(同77.4%減)となりました。

## ③ 経常利益

当第1四半期連結累計期間の営業外損益は△26,773千円(前年同四半期は△23,009千円)となり、その結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は150,987千円(前年同四半期比80.2%減)となりました。

## ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益

当第1四半期連結累計期間において、特別損失に固定資産除却損3,440千円、法人税等48,743千円及び非支配株主に帰属する四半期純損失△2,724千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は101,528千円(前年同四半期比80.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は25,210,501千円となり前連結会計年度末に比べ1,923,633千円減少いたしました。この減少の主な要因は、現金及び預金が1,329,578千円の減少、受取手形及び売掛金が157,755千円の減少、販売用不動産が739,822千円の減少、投資その他の資産のその他が64,065千円の減少及び流動資産のその他が371,349千円増加したことによります。

負債合計は15,916,869千円となり前連結会計年度末に比べ1,650,899千円減少いたしました。この減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が41,610千円の減少、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が520,275千円の減少、未払法人税等が472,846千円の減少、賞与引当金が232,670千円の減少及び流動負債のその他が365,090千円減少したことによるものであります。また、純資産合計は9,293,632千円となり前連結会計年度末に比べ272,733千円減少いたしました。この減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益101,528千円、前期の剰余金の処分による配当金359,998千円、その他有価証券評価差額金△11,539千円及び非支配株主持分△2,724千円を計上したことによるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の34.7%から36.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の当社グループへの影響につきましては、当第1四半期連結累計期間の不動産マネジメント部門については軽微であるものの、大学のリモート授業が長期化した場合や入学時期の変更があった場合は、新規入居者募集への影響や一時的に退去者が増加することにより入居率が低下する可能性があります。旅行分野である課外活動ソリューション部門については、通常時は年間売上高の5割超を夏季シーズン、3割超を春季シーズンが占める季節性があり、当第1四半期連結累計期間の売上高が前年同四半期比△99.1%と大きく減少し、春季シーズンに向けても大学の課外活動への規制等の緩和の状況や新型コロナウイルス感染症の収束又は拡大の時期によっては引き続き大きな影響を受けることとなります。また、人材ソリューション部門についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の新卒採用方針や新卒採用活動方法が変化していくものと予想され、現時点では業績への影響を見積もることが困難であります。

上記の理由により、2021年5月期の連結業績予想につきましては、現時点においては合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

なお、1株当たり配当につきましては、前連結会計年度の配当額を維持することとし、中間配当は8円、期末配当は20円、年間配当は28円を予定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,972,773	4,643,194
受取手形及び売掛金	351,708	193,953
販売用不動産	12,193,941	11,454,118
仕掛品	16,270	23,867
貯蔵品	23,483	23,821
その他	716,498	1,087,847
貸倒引当金	△55	△41
流動資産合計	19,274,618	17,426,762
固定資産		
有形固定資産	4,534,171	4,522,517
無形固定資産	599,110	599,052
投資その他の資産		
その他	2,726,615	2,662,550
貸倒引当金	△380	△380
投資その他の資産合計	2,726,234	2,662,169
固定資産合計	7,859,516	7,783,739
資産合計	27,134,135	25,210,501
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,628	257,017
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,075,387	2,396,816
未払法人税等	493,134	20,287
賞与引当金	271,500	38,830
その他	1,694,105	1,329,014
流動負債合計	6,432,754	4,641,965
固定負債		
長期借入金	9,441,639	9,599,935
役員退職慰労引当金	250,560	260,560
資産除去債務	66,341	66,532
その他	1,376,473	1,347,876
固定負債合計	11,135,014	11,274,903
負債合計	17,567,768	15,916,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	511,183	511,183
利益剰余金	8,119,701	7,861,231
自己株式	△17	△17
株主資本合計	9,405,934	9,147,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,813	9,273
その他の包括利益累計額合計	20,813	9,273
非支配株主持分	139,618	136,893
純資産合計	9,566,366	9,293,632
負債純資産合計	27,134,135	25,210,501

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
売上高	5,775,605	4,155,967
売上原価	4,126,722	3,151,762
売上総利益	1,648,882	1,004,204
販売費及び一般管理費	863,480	826,443
営業利益	785,401	177,761
営業外収益		
受取利息	505	407
受取配当金	152	152
持分法による投資利益	2,512	2,534
雑収入	2,952	3,377
営業外収益合計	6,122	6,472
営業外費用		
支払利息	19,173	18,565
資金調達費用	9,384	14,439
その他	572	240
営業外費用合計	29,131	33,245
経常利益	762,392	150,987
特別損失		
固定資産除却損	—	3,440
特別損失合計	—	3,440
税金等調整前四半期純利益	762,392	147,547
法人税、住民税及び事業税	235,765	17,600
法人税等調整額	9,467	31,142
法人税等合計	245,232	48,743
四半期純利益	517,160	98,804
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,038	△2,724
親会社株主に帰属する四半期純利益	519,198	101,528



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	517,160	98,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,287	△11,539
その他の包括利益合計	21,287	△11,539
四半期包括利益	538,447	87,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540,485	89,988
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,038	△2,724

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	不動産ソリ ューション事業	学生生活ソリ ューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,575,923	1,199,681	5,775,605	—	5,775,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,575,923	1,199,681	5,775,605	—	5,775,605
セグメント利益	762,858	220,568	983,426	△198,024	785,401

(注)1 セグメント利益の調整額△198,024千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	不動産ソリ ューション事業	学生生活ソリ ューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,785,553	370,413	4,155,967	—	4,155,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,785,553	370,413	4,155,967	—	4,155,967
セグメント利益又は損失(△)	518,101	△145,934	372,166	△194,405	177,761

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△194,405千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。